

氏名 細野 弘康 (東区)

1. 新潟市の人口減少について

若い世代の首都圏への人口流出により、新潟市の人口は減少しています。人口流出に歯止めをかけるため新潟市は具体的に何をすべきであると考えられますか。

要旨

企業の誘致・マッチングと内外へのPR

詳細

魅力のある企業の誘致が必要。また、現在多くある素晴らしい新潟の企業をしってもらい、就業に繋げるマッチングの強化や起業支援。関東圏や関西圏からのI・J・Uターンの強化。

2. 若年層へ向けた政策について

18歳から30代の若年層に向けた政策についてお聞かせください。

要旨

住みたくなるまちづくり

詳細

若い人達から積極的に意見を聞き、まちづくりに活かす仕組みづくり。魅力ある施設整備、子育て支援策の強化、働きやすい職場環境の整備等。

3. 若年層の政治への無関心について

若年層が政治離れする一番の理由として、誰がやっても変わらないという意見がありますが、どのように感じていますか。

要旨

情報発信とコミュニケーション

詳細

政治家自らが、積極的に市政に関することを様々なツールを活用して発信をすること。また、面と向かって話す機会を持ち、意見交換をすることによって地道に政治に対する理解を深める努力をする。

4. 新潟市とSDGsについて

新潟青年会議所では本年度、私たちの考える明るい豊かな社会の実現のため、誰一人も取り残されない、持続可能な目標であるSDGsを推進していますが、SDGsの17項目のうちどの項目に力を入れて具体的にどのように取り組んでいきたいと考えますか。

要旨

ありとあらゆる貧困をなくす

詳細

子ども食堂の支援を強化し、子どもたちの居場所を増やす。フードバンク活動を推進し、食品ロスに取り組みながら、必要な人たちに必要な食料を届けることができる仕組みづくり。

5. 中原市長の10の基本政策に対してどのように考えていますか。

10の基本政策のうち一つ選択し、お書きください。

要旨

未来に夢を持てるまち新潟

詳細

小中の切れ目ない教育、小中に繋がる幼児教育をうたっているが、幼・小・中の連携を強化し、小1ギャップや中1プロブレムが解消される流れを作るべき。また、新潟版コミュニティースクールを早期に実現する為に尽力をしていただきたい。また、キャリア教育を発育段階に合わせて導入し、学力向上も大切だが将来になりたい自分になれるような子どもたちの未来を築く教育を推進するべき。